

通番	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
220	こてんたんきゆう 古典探究①	2	2	総合学科	系列選択C

履修条件、選択上の留意事項等
三年次 系列選択G古典探究②を継続履修する。

科目の目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
② 思考・判断・表現	古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりする活動。
③ 主体的に学習に取り組む態度	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。
評価の方法	
学習内容に関心を持ち授業での自身の考えをまとめ発表する意欲、課題を見つけ解決に向けて取り組む態度等を継続的に延ばしていく姿勢を多面的に評価する。 課題の達成状況により、知識・技術の習得状況や思考・判断・表現力について評価する。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材(使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	古典の世界	宇治拾遺物語 『検非違使忠明のこと』	言語文化で学習した「忠明」を基に、古典で探求する姿勢と知識を学び直す。	○		
5	物語を読む	今昔物語集 『安倍晴明』	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること	○		○
6	随筆を味わう	(以下の作品をペアリーディングで読む)	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。	○		
		徒然草 『家居のつきづきしく』 『花は盛りに』 『今日はそのことをなさんと 思へど』	古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。		○	
		方丈記 『行く河の流れ』 『安元の大火』	【言語活動】先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。			○
			定期試験による評価	○	○	
7	歴史物語の文体	大鏡『競べ弓』	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。		○	

	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	漢文の世界	故事・逸話より 『塞翁が馬』	訓読の基礎の復習	○		
			言語文化で学習した「禍福はあざなえる」を基に、漢文読解の基礎を学ぶ	○		
			古文と漢文の文体の違いを比較し、漢文を読む意味を考える		○	
10	歴史物語の世界	史記『四面皆楚歌す』	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	○		
			文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。		○	
11		比べ読み 芥川龍之介『英雄の器』	【言語活動】先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。		○	○
			定期試験による評価	○	○	
12	漢詩の世界を味わう	王維と李白	漢詩の形式と技法を学び、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。	○		
			関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。		○	
		【言語活動】漢詩と中国文化	漢文の名句・名言などを読み、社会生活に役立つ知識の文例を集め、それらの現代における意義や価値などについて随筆などにまとめる活動。		○	○
1	探求の世界へ	土佐日記『羽根』 『阿倍仲麻呂の歌』 李白『哭晁卿衡』	二つの国や文化にまたがる作品を比較する中で、古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること	○		
			古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。		○	
			【言語活動】古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること			○
2	韻文の世界	万葉集と漢詩（古今和歌集）	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。	○		
			文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。		○	
		【言語活動】詩で表現する	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること		○	○
			定期試験による評価	○	○	

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
	論理・表現Ⅱ	2	2	総合学科	系列選択C

履修条件、選択上の留意事項等
総合学科でⅠ年次に「論理・表現Ⅰ」を習得していること。

科目の目標
一定の支援を活用すれば、日常的な話題や社会的な話題について、論理の構成や展開を工夫しながら、 1. ディベートやディスカッションなどの活動を通して、情報や考え、気持ちなどを伝え合ったり、交渉したりすることができる。 2. スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、情報や考え、意見や主張などを詳しく説明することができる。 3. 聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、複数の段落から成る文章で詳しく書くことができる。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	話したり書いたりするために必要な語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。
② 思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、相手の意図を的確に把握し、適切に表現したり伝えたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、自律的に外国語学習に取り組んでいる。
評価の方法	
定期テスト、パフォーマンステスト、授業への取り組み状況、自己評価の記述内容、課題や提出物の状況	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Lesson 1	Guess Who?	人物やキャラクターを描写することができる。		○	
			質問したり、描写したりするための表現を習得している。	○		
			特徴が伝わるように、紹介したい「人物やキャラクター」について書いて理由とともに詳しく伝えようとしている。			○
	Lesson 2	Space Travel	宇宙で体験したいことのアイデアを募集することができる。		○	
			希望・願望を表したり提案するための表現を習得している。	○		
			「宇宙で体験してみたいアイデア」に募集するために、段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。			○
5	ライティング		「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。	○	○	○
6	Lesson 3	Where is the Post Office?	英語で道案内することができる。		○	
			場所・行き方を尋ねたり、位置・方向を示すための表現を習得している。	○		
			道案内をするために、「道順」や「目印」などについて情報や特徴を伝え合おうとしている。			○
	Lesson 4	Wonderful World	世界のおすすめスポットを紹介するポスターを作ることができる。		○	
			具体的に説明を加えるための表現を習得している。	○		
			「世界のおすすめスポット」を紹介するために、構成や展開を工夫して、効果的に書いて伝えようとしている。			○
	スピーチ		「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して理由とともに詳しく話して伝えている。	○	○	○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	Lesson 5	Job Search	面接で自分をアピールすることができる。		○	
			図表を説明したり、勧めたりする表現を習得している。	○		
			「職業」などについて、自分の考えや情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。			○
10	Lesson 6	New-type Robots!	ロボットコンテストに応募することができる。		○	
			誘ったり能力を表したりするための表現を習得している。	○		
			「ロボットコンテスト」に出展するために、製品の能力などを、論理の構成や展開を工夫して伝えようとしている。			○
10	プレゼンテーション		「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝えている。	○	○	○
11	Lesson 7	Enjoy Japanese Foods	和食のレシピを紹介することができる。		○	
			数量を表したり、順序・経過を表す表現を習得している。	○		
			外国人に紹介したい「和食」についてまとめた文を基に、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えようとしている。			○
12	Lesson 8	Looking for an Apartment	ルームメイト募集の広告を書くことができる。		○	
			部屋の配置を表したり対比する表現について習得している。	○		
			「ルームメイト」募集広告を書くために、情報や特徴を論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。			○
12	ディスカッション		「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「ディスカッション」に必要な表現を用いながら、基本的な流れに沿って、自分の考えや情報などを、話して伝え合っている。	○	○	○
1	Lesson 9	Ideas from Nature	バイオミクリーについてプレゼンすることができる。		○	
			名称を表したり、理由を述べるための表現を習得している。	○		
			紹介したい「バイオミクリー」についての文を基に、自分の考えや情報などを、展開を工夫して伝えようとしている。			○
2	Lesson 10	Let's talk about SDGs!	社会問題と解決策について自分の考えを紹介している。		○	
			出典・引用を示すための表現を習得している。	○		
			「SDGs」について、自分の考えや情報などを論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて伝えようとしている。			○
2	ディベート		「日常的な話題」について、ディベートの基本的な流れに沿って、賛成や反対の立場に立った場合の意見や主張に対して、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。	○	○	○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
222	数学B	2	2	総合学科	系列選択C

履修条件、選択上の留意事項等
数学Ⅱを履修していること

科目の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
② 思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	
定期テスト、ワークシート、課題などの提出物への取組状況、授業への取組状況 など	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	等差数列と等比数列	数列と一般項	数列についての基本的な用語の意味を理解する。	○		○
		等差数列	等差数列について理解し，一般項や和を求めることができる。	○	○	
		等差数列の和				
		等比数列	等比数列について理解し，一般項や和を求めることができる。	○	○	
		等比数列の和				
5	いろいろな数列	和の記号 Σ	和の記号 Σ について理解し，一般項が3次以下の多項式で表される数列の和を求めることができる。		○	○
		階差数列	階差数列について理解する。また，数列の和と一般項の関係について理解し，一般項を求めることができる。		○	○
		いろいろな数列の和	いろいろな数列の和や，群数列について考察することができる。		○	
	漸化式と数学的帰納法	漸化式	漸化式について理解し，さまざまな事象の考察に応用することができる。		○	
数学的帰納法		数学的帰納法について理解し，数学的帰納法を用いてさまざまな命題を証明することができる。		○	○	
6						
7						

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	確率分布	確率変数と確率分布	確率変数、確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる。	○		
10		確率変数の期待値と分散	確率変数の平均と分散、標準偏差の意味を理解する。また、確率変数 X と $aX+b$ におけるそれらの値の関係について理解し、求めることができる。		○	○
		確率変数の和と積	確率変数の和の平均、および独立な確率変換の積の平均や和の分散を求めることができる。		○	
11		二項分布	二項分布の特徴を理解し、二項分布に従う確率変数 X が条件をみたす確率や、 X の平均、分散を求めることができる。		○	○
12		正規分布	連続分布、正規分布について理解し、正規分布に従う確率変数が条件を満たす確率を求めることができる。また、正規分布に近似することで二項分布について考察することができる。		○	
1	統計的な推測	母集団と標本	母集団の平均、分散、標準偏差を求めることができる。	○		
		標本平均の分布	母集団分布と標本分布の関係、および標本平均の分布の特徴について理解し、標本平均の平均と標準偏差や、標本平均が条件を満たす確率を求めることができる。	○	○	
2		推定	得られた標本から母集団の特徴を表す値を推測する方法として、正規分布を利用した信頼区間の考え方を理解し、母平均および母比率を推定することができる。		○	○
		仮説検定	得られた標本から母集団に関する主張が妥当かどうかを判断する方法として、正規分布を利用した仮説検定考え方を理解し、母平均および母比率に関する主張について仮説検定することができる。			○

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
223	生活と運動	2	2	総合学科	系列選択C

履修条件、選択上の留意事項等
福祉、看護、保育、体育系の進学を目指している生徒を対象とする。 定員は20名程度とし、多い場合は調整する。

科目の目標
基礎的、基本的な運動の理論、実践を通して、個人の体力並びに人体のしくみを理解し、自己と他者の身体活動の推進及び体力の向上に生かす資質・能力を育成することを目指す。 (1)基礎的、基本的な運動の理論、実践を通して、体力が向上するようにする。。 (2)自己や他者の課題を発見し、課題の解決に向けて思考し判断するとともに、他者の体力向上を促す力を養う。 (3)将来の身体活動の推進に向けて、健康・安全を確保し、主体的に取り組む態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	基礎的、基本的な運動の理論と人体のしくみについて理解している。 自己の体力を向上している。
② 思考・判断・表現	運動の理論、実践を通し、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて思考し、判断する力を身に付ける。
③ 主体的に学習に取り組む態度	健康・安全に留意して、主体的に取り組もうとしている。
評価の方法	
・運動の知識・技能の点検、確認、分析（ペーパーテスト、スキルテスト、学習プリント 等） ・記述の点検、確認、分析（学習プリント・グループワーク 等） ・行動の観察、確認（グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等）	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	人体のしくみ	体のつくりと働き	人体のしくみについて理解している。	○		
			人体のしくみについて課題を発見し、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。		○	
			人体のしくみについて、課題解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に主体的に取り組んでいる。			○
5	運動ケア	ストレッチ, マッサージ, テーピング	基礎的、基本的な運動ケアの技能を理解し、実践することができる。	○		
自己や仲間の実践を観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。				○		
6			健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。			○
7	体ほぐし運動	マット運動	用いられる技術のポイントを理解することができる。	○		
			基礎的、基本的な体の使い方で、動きを表現することができる。	○		
			自己や仲間の実践を観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。		○	
			健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。			○
9	福祉と運動	高齢者, 障がい者向けの運動	各運動における福祉との関連性を理解することができる。	○		
基礎的、基本的な体の使い方をすることができる。			○			
10			自己や仲間の実践を観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。		○	
健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。					○	
11	健康維持増進運動	球技, ウォーキング, エアロビクス	用いられる技術のポイントについて理解することができる。	○		
基礎的、基本的な体の使い方を通して、安定した動きができる。			○			
12			自己や仲間の実践を観察し、それぞれの課題を発見し、改善すべきポイントを仲間に伝えている。		○	
健康・安全を確保し、主体的に取り組んでいる。					○	
1	運動実践計画	運動プログラムの設計及び実践	基礎的、基本的な運動ケアの技能を理解し、運動プログラムを設計することができる。	○		
2			基礎的、基本的な体の使い方を通して、設計された運動プログラムを実践することができる。	○		
運動プログラムの設計及び実践について課題を発見し、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。				○		
運動プログラムの設計及び実践について課題解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に主体的に取り組んでいる。					○	

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
224	商品開発と流通	2	2	総合学科	選択C

履修条件、選択上の留意事項等

科目の目標 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、商品開発と流通に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 商品開発と流通に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識を身に付けている。
② 思考・判断・表現	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。
評価の方法	
・学習内容に関心を持ち授業での自身の考えをまとめ発表する意欲、課題を見つけ解決に向けて取り組む態度等を多面的に評価する。また、レポート等による知識・技術の習得状況や思考・判断・表現力について評価する。 ・上記項目を含め、上記評価規準に従って総合的に評価を行う。	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Introduction 1なぜ商品開発と流通は 行われるのか？ 2なぜ『商品開発と流 通』を学ぶのか？	日常生活を送るために、商品は必要不可欠なものであり、それを入手するためには流通も重要であることを理解する。 『商品開発と流通』の概要を理解する。 商品の成り立ちおよびその捉え方について理解する。	商品開発と流通が一連のものであることを理解している。 『商品開発と流通』の学習内容について理解している。 現代市場における商品開発と流通の概要について理解している。 現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。	○		
5	1章 商品開発と流通の概 要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり	商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクルについて理解する。	商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる 商品開発の流れを理解している。	○	○	○
6	2章 商品の企画 1 環境分析と意思決定の 準備 2 市場調査	商品開発の手順について理解し、学習の見通しをたてる。 流通の仕組みについて、事例を調査して考察する。 市場環境とマーケティングの変化、流通チャネルの多様化について理解する。 商品の企画に必要な環境分析について、企業における事例と関連付けて理解する。	企業の事例を取り上げられている。		○	
7	3 商品コンセプトの策定 4 商品企画の提案	商品開発の方針を策定し、標的市場を整理して開発する商品テーマを決定することを理解する。	商品ライフサイクルおよびSTPについて理解している。 市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。 ブレインストーミングなどの技法を用いて、アイデアの創出が行えている。 アイデア創出に当たり、主体的かつ協働的な取り組みを行って商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	
	実習 商品の企画	環境分析に基づいて、市場調査を行い、そこから商品の企画に関する課題を発見する。				
	確認問題	商品コンセプトの内容について理解するとともに、ブレインストーミングなどの技法を用いて、商品企画につながるアイデアを考える活動を行う。 商品コンセプトを考察し、具体的に商品企画書の各項目をまとめる。 商品企画書を基にプレゼンテーションを行い、評価、改善を行う。			○	○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	3章 事業計画の立案	商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について理解する。 競争環境や需要予測等に基づいた、価格の設定の考え方を理解する。 さまざまな価格政策について、企業における事例と関連付けて考察する。	事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 価格の設定方法を理解している。 事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。 プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。	○		
	1 事業計画の概要					
	2 価格計画					
10	3 流通計画	流通チャネルの種類と特徴について理解する。 プロモーション計画について、企業における事例と関連付けて理解する。 事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作成する。	企業の事例を取り上げられている。 価格政策ごとに戦略に違いがあることに気付いている。 流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作成できている。	○	○	
	4 プロモーション計画					
	5 事業計画書の作成					
11	実習 事業計画の立案	作成した事業計画書を基にプレゼンテーションを行い、評価、改善を行う。	・事業計画の立案について理解している。			○
12	4章 商品の開発	商品仕様と詳細設計について、企業における事例と関連付けて理解する。	企業の事例を取り上げられている。	○		
	1 商品仕様と詳細設計					
	2 プロトタイプ					
1	3 商品とデザイン	プロトタイプの種類と目的について理解する。 プロトタイプを用いたテスト及び評価により、課題を書きらかにすることを理解する。 商品デザインの役割や要素、種類等について理解する。	プロトタイプの種類と目的を理解している。 プロトタイプを用いたテストと評価により、課題を見つけ、改善する必要性を理解している。 市場調査から商品の企画に関する課題を発見する。	○	○	
2	4 ブランド	商品デザインの技法について、具体的な事例と関連付けて分析する。(実習を含む) ブランドについて、機能、構成要素等を理解する。	企業の事例を取り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 パッケージやポスターのデザインを作成できる。 ブランドの機能、構成要素等を理解している。	○	○	○
	5 知的財産権の登録					
	5章 商品の販売					
2	1 販売員活動	知的財産権の内容、重要性について理解する。 偽ブランドや偽キャラクター商品等の知的財産権の侵害について、具体的な事例と関連付けて分析、考察する 販売員活動について、プロセス、役割等を理解する。 セールスプロモーションについて理解し、企業における具体的な事例と関連付けて分類する。	知的財産権の内容や、手続き方法の違いを理解している。 知的財産権の侵害について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができている。 ・販売員活動におけるプロセス、役割等を理解している。 ・企業の事例を取り上げ、顧客の購買心理に基づいたセールスプロモーションが行われていることに気付いている。	○	○	
	2 セールスプロモーション					
2	6章 商品と流通に関わる新たな展開	顧客ニーズの多様化から、デザイン思考について企業における具体的な事例と関連付けて理解する。	企業の事例を取り上げて、デザイン思考の商品開発について理解できている。	○		
	1 商品開発の新たな展開					
	2 流通の新たな展開					
2	3 感覚を活かした商品開発・流通	流通の新たな展開として情報システムの変化が流通に影響を及ぼしていることを理解する。 感覚を活かしたプロモーション活動等を、企業における事例と関連付けて考察する。	情報システムの変化が効果的・効率的な流通に結びついていることを理解している。 企業の事例を取り上げて考察できている。		○	○